

フラッシュフィルの機能の使い方

No.excel:50

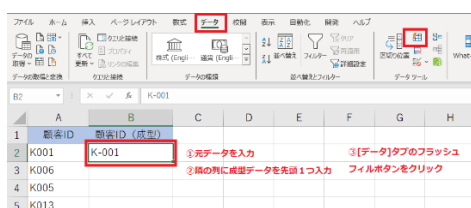
P C クラブ 2025.06.18

「フラッシュフィル」は、データをいくつか入力すると、入力したデータのパターンに従って残りのデータが自動的に入力される機能。

フラッシュフィルの手順

フラッシュフィルを利用するには、まずフラッシュフィルを利用する対象となる元のデータを用意します(今回の例ではA列)。次いで、元データの横のセル(今回はB2)に、処理したい手順を施したデータを入力しましょう。

入力したセル(B2)を選択し、[データ]タブの「データツール」の「フラッシュフィル」をクリックすると、規則性に従って自動的に値が入力されます。



	A	B
1	顧客ID	顧客ID (成型)
2	K001	K-001
3	K006	K-006
4	K005	K-005
5	K013	K-013
6	K002	K-002
7	K015	K-015
8	K009	K-009
9	K010	K-010
10	K004	K-004
11	K003	K-003
12	K011	K-011

1. 元データを入力
2. 隣の列に成型データを先頭1つ入力
3. 「データ」タブのフラッシュフィルボタンをクリック

フラッシュフィル「抽出」活用例

氏名の姓と名を分割

先述のとおり、フラッシュフィルを活用すれば、氏名の姓と名を簡単に分割できます。ただしこの方法は、元となるデータにおいて、姓と名の間に全角または半角スペースなど区切る文字が入っていることが条件です。姓と名との間にスペースがない場合は正しく処理されないため、元データを作成する際は注意しましょう。

	A	B
1	谷村 裕美	谷村
2	山田 一郎	
3	斎藤 靖男	
4	武田 和夫	
5	保田 英子	
6	佐久間 徹	

姓と名の間はスペースなどで区切っておくことが必要

	A	B
1	谷村 裕美	谷村
2	山田 一郎	山田
3	斎藤 靖男	斎藤
4	武田 和夫	武田
5	保田 英子	保田
6	佐久間 徹	佐久間

フラッシュフィルをかけた結果

フラッシュフィル「結合」活用例

氏名の姓と名を結合

氏名の姓と名が別のデータとして入力されていても、フラッシュフィルによって結合が可能です。まずは、データの一行目で別々に入力した姓と名の横のセルに、1つのまとめた氏名を入力します。その後、入力したセルを選択してフラッシュフィルを実行すれば、残りの氏名データも結合されます。

E	F	G
佐野	悦子	佐野悦子
川島	康則	
佐藤	信二	
金子	武雄	

E	F	G
佐野	悦子	佐野悦子
川島	康則	川島康則
佐藤	信二	佐藤信二
金子	武雄	金子武雄

住所の結合

都道府県や市町村、番地などに分けられた住所も、必要に応じてフラッシュフィルによって結合できます。データの一行目で分割された住所データの横のセルに、都道府県や市町村、番地などを1つにまとめて入力しておきましょう。次に、入力したセルを選択してフラッシュフィルを実行することで、残りの住所データも結合されます。

	A	B	C	D
1	東京都	中央区	銀座	東京都中央区銀座
2	千葉県	浦安市	富士見	
3	埼玉県	上尾市	本町	

	A	B	C	D
1	東京都	中央区	銀座	東京都中央区銀座
2	千葉県	浦安市	富士見	千葉県浦安市富士見
3	埼玉県	上尾市	本町	埼玉県上尾市本町

フラッシュフィル「自動変換」活用例

電話番号のハイフン削除

ハイフンのついた電話番号のデータからハイフンを取り除く作業も、フラッシュフィルで簡単にできます。ハイフンのないデータを作るには、ハイフン付きの電話番号が入力されたセルの横に、ハイフンが入っていない同じ番号を入力します。

次に、入力したセルを選択してフラッシュフィルを実行すると、残りの電話番号もハイフンが取り除かれたデータに変換することが可能です。

	A	B
1	070-9124-6417	07091246417
2	070-9931-2864	
3	070-9302-7364	
4	070-6054-7847	
5	070-5731-8010	
6	070-9408-6070	

	A	B
1	070-9124-6417	07091246417
2	070-9931-2864	07099312864
3	070-9302-7364	07093027364
4	070-6054-7847	07060547847
5	070-5731-8010	07057318010
6	070-9408-6070	07094086070

郵便番号の形式を整える

郵便番号を数字だけで登録している場合、〒マークとハイフンを付け足した表記に変更可能です。まずは数字だけを記入した郵便番号のセルの横に、〒マークとハイフンを付け足した同じ番号を入力しましょう。入力したセルを選択してフラッシュフィルを実行すると、残りの郵便番号にも〒マークとハイフンが付加されます。

	A	B	C
1	郵便番号		
2	1294910	〒129-4910	
3	5892258		
4	3487151		
5	2454681		
6	4446348		
7	7812533		

	A	B	C
1	郵便番号		
2	1294910	〒129-4910	
3	5892258	〒589-2258	
4	3487151	〒348-7151	
5	2454681	〒245-4681	
6	4446348	〒444-6348	
7	7812533	〒781-2533	